

	団 体 名	主 な 活 動 内 容
学 校 ・ 園	社会福祉法人川本福祉 会 川本保育所 (川本町) ○学級数 6学級 ○園児数 46人	○ 各クラスに公立図書館司書が選書した絵本を置き、毎日保育士が読み聞かせを行い、毎週1冊自分で選んだ絵本を貸し出すなど、いつでも絵本を楽しめる環境づくりを以前より行っている。 ○ 近年は、読書を通じた親子のふれあいをテーマとした活動に力を入れているほか、散歩やイベントにあわせて図書館を訪問する機会も積極的につくっている。 ○ 町内の読み聞かせボランティア団体、老人会、中高生を保育所に招いて読み聞かせをしてもらうなど、地域との交流の中にも読書活動を取り入れている。職員は読み聞かせの研修会へ毎年参加し、スキルアップにも努めている。 ○ 以上のような取組によって、進んで絵本を読まなかった園児が楽しそうに絵本を読む姿が見られるようになり、読書量も増加する等の成果が上がっている。
	大田市立川合小学校 (大田市) ○学級数 6学級 ○児童数 60人	○ 学校図書館活用を通して「基礎学力を生かした主体的に表現できる児童の育成」を目指し、教職員が一体となって取り組んでいる。 ○ 児童会委員会活動も積極的に行われており、教職員と一緒に図書館の運営・活用を進めるほか、縦割り班での読書チャレンジ等の企画にも取り組んでいる。 ○ 各学年に応じたおすすめ本の選定や冊数の設定をし、全校児童が完読賞を目指して取り組み意欲を高める工夫もされている。また、読み語りを全学年で実施したり、生活習慣に読書を組み入れて家族と一緒に家読に取り組んだり、家庭や地域ボランティアとの連携を図りながら読書活動が推進されている。
	松江市立第二中学校 (松江市) ○学級数 26学級 ○児童生徒数 731人	○ 多くの学校が目標としている児童生徒の貸出冊数の増加ではなく、「全教科・領域における図書館活用教育の推進」を目標として取り組んだ点に特徴がある。さまざまな教科を担当する全教職員が一丸となって年間を通じて研究・実践を行う校内体制を充実させ、意識的に図書館を活用したことで、1クラスあたりの図書館を活用した授業時数は、前年度より約10時間増加した。 ○ 生徒会図書委員会とも連携を図り、生徒の発想を大切にしながら新入生ウェルカム読み聞かせ、朝の出張貸出、ミニビブリオバトル等の新たな読書活動に積極的に挑戦している。
	島根県立益田養護学校 (益田市) ○学級数 26学級 ○児童生徒数 76人	○ 子ども一人一人の読書活動を支えるために、小・中・高等部の各学部に図書館担当者を配置し、学校司書を含めた担当者会を定期的に実施している。この学部担当者が中心となり、子どもの興味関心や授業者の求める図書資料に対し、子どもの障がいの状態や学習内容を踏まえた提案をしたり、授業での図書館活用を推進したりしている。 ○ 子どもの読書活動を推進するための特色ある取組例として、食育をテーマに、学校司書と栄養教諭が計画的に自校給食の良さを生かした連携を行ったり、学校図書館が高等部生徒の校内実習の場として提供され生徒の学校図書館利用を促す機会になったりしている。 ○ これらの学校図書館を位置付けた体制や取組は、子どもの読書活動への意欲の高まりにつながっており、それぞれの障がいの状態や小学部から高等部までの発達段階を踏まえた上で、子どもの積極的な読書活動につながる取組を充実させている。

図 書 館	松江市立中央図書館 (松江市) ○開設 昭和61年6月 ○職員数 30人	○ 乳幼児期においては、家庭における絵本に親しむ習慣づくりと絵本をとおした親子の触れ合いを目的に、4 か月健診会場での読書普及活動を実施。その後は、成長の段階に合わせ、「ストーリーテリングのおはなし会」や、幼稚園、小学校、中学校に語り手を派遣する「お話出前事業」などの取組を行っている。 ○ 「語り手養成講座」や「語り手のための講座」も定期的に開催し、講座受講の修了者をボランティアとして派遣している。このように、お話を届ける側の育成にも力を入れており、これも、子どもたちが本に触れ合う機会を作るにあたり、大きな役割を担っている。 ○ これらの活動が、子どもやその保護者の読書への興味・関心の向上に寄与し、本の好きな子の育成や、子どもが本に触れ合う機会の醸成につながっている。 ○ 令和5年10月にはリニューアルオープンを行い、2階には専用の「おはなしのへや」を新設。周囲を気にすることなく落ち着いた環境の中で、おはなし会などを実施できる環境を整えた。
団 体	スウィートポテトの会 (大田市) ○発足 平成18年7月 ○会員数 5人	○ 大田市中央図書館でのストーリーテリングと、依頼を受けての市内小学校での出前ストーリーテリングが主な活動で、大田市立図書館職員の協力を受けながら実施されている。 ○ ストーリーテリング（語り聞かせ）による読書推進活動を行っている団体は大田市内で唯一であり、読み聞かせとは異なる形で子どもたちやその親世代等が物語や本・読書と触れ合える機会を長期間にわたり提供していることは、多様な子どもたちの読書機会の確保に大きく貢献している。

(学級数及び児童生徒数は令和6年5月1日現在)